

# かがやく瞳

No. 2号

発行日 平成29年11月●日  
発行責任者 豊福 猛  
編集 社会福祉法人  
北見福祉会広報委員会

〒090-0835 北見市光西町178-5  
TEL 0157-57-5057  
FAX 0157-57-4767

じょうぶな体の子ども・ゆたかな心の子ども・のびのび遊ぶ子ども

11月も中旬を迎え、各地の積雪の便りに冬間近を感じる頃になりました。

今年のオホーツク地方は、7月の猛暑、8月の低温期など例年にない気象でした。また、集中豪雨などにより、各地で人的な被害も発生してしまいました。地球の温暖化による異常気象との報道もありますが、子ども達の将来を考えると、一過性の気象であってほしいと願っているところです。今年は、どのような冬をむかえることになるのか…とても気がかりです。

さて、創刊号では、子ども達の「生きる力」の基礎育成にむけ設定した、「目指す子ども像」をお知らせしました。本号はその理由や考え方について簡単にお知らせします。

「目指す子ども像」は、生涯にわたり必要になる力や資質を身に付けた子どもの姿です。この姿の実現には、子どもにとって好ましい環境を、各家庭とこども園の協働で創ることが重要になります。

## じょうぶな体の子ども

「生きる力」の基礎を身に付けるためには、健やかで健康な心身が必要です。そのため「じょうぶな体の子ども」を育てることが、この時期の子ども達にとって最も重要なことと言えます。

こども園では、衛生面に配慮するとともに、体力向上の取り組みとして動的な遊びの楽しさや、友達と力を合わせたり、競ったりする遊びの面白さを味わわせ、また、自然探索や生活している地域を知る学習として戸外活動を大切にしてきました。

同時に、こども園では「食育」の一環として、子どもの偏食にも目を向けています。しかし、子どもの成長に大きな影響を及ぼす正しい食生活や「早寝・早起き・朝ご飯」など、日常生活のリズムの確立は家庭での役割が大きく、子どもの発育は家庭生活と密接な関わりを持っています。子ども達の将来を見据え、規則正しい生活を心掛けることが重要なことと言えます。

さて、心身ともに健康な子どもは、成長すると健康の素晴らしさを理解し、疾病の予防をはじめ、自分から健康的な生活を送ろうとする気持ちを持ちます。そして、自分は勿論のことですが、他や小動植物の小さな命をも大切にする意識を持つこととなります。

## ゆたかな心の子ども

「心豊かな子ども」。これは全ての親が願う子どもの姿ですが、小さな子ども達の心の成長は目に見えるものではありません。しかし、乳児が嬉しい時は笑顔を見せ、不快を感じる時は声を出し泣くのも、心の成長の表れと言えます。

乳児期の子ども達の心は、急激に成長します。その成長に大きな影響を及ぼすのが、保護者や保育教諭の“子どもの気持ちに共感する心の触れ合い”です。

幼児期は自我を確立する時期で、生活の場も重要になります。多くの子ども同士が接する中で、仲の良い友達を意識したり、不満を持ったり、涙を流したりすることが増えるからです。そのような時に、保育教諭の仲立ちで友達の気持ちを察したり、時には我慢したり、折り合いを付けたりする中で心が育っていきます。子ども達の心の成長を数値化することはできません。しかし、泣いたり笑ったり、怒った



り、沈み込んだりするの心身の成長の証のひとつです。このように、心の成長のバロメーターとして、喜怒哀楽を表情にあらわす子ども達に育てたいと考えています。

豊かな心を持つ子どもは、友達を大切にします。だから周りの仲間から優しく接してもらえます。このことが、人と触れ合うことの楽しさや素晴らしさの理解につながり、他を思いやる心、道徳心など、豊かな人間性を培う礎になります。



## のびのび遊ぶ子ども

子どもの遊びは、心身の成長との関わりで極めて重要なものと言えます。0歳の子も達は、好きな玩具を手に取り仲間と背中合わせで遊んでいます。月齢が進むと向かい合って遊び始め、玩具の取り合いが始まります。そんな時、保育教諭は「か～してと、言うんだよ。」と優しく接します。簡単に習慣化はできませんが、子ども達が遊びを通し初めて覚える生活のルールかも知れません。さらに成長すると、生活や遊びの中で喧嘩やいさかいが起こります。

そのような時には、保育教諭は双方の気持ちに共感しながら、「きまりがあること」に気付けるように配慮し、子ども達の間に入ります。

集団遊びを楽しむ子ども達から「〇〇ちゃん、それダメだよ。」とか、「順番を守って。」などの声が聞こえてきます。これらは遊びの中で、「きまり」を覚えた子ども達の姿と言えます。

砂場で遊んでいた子ども達から「山の水族館ができた。」との声が聞こえてきました。見ると砂山にプラスチックの魚やイルカ、タコなどの型抜きが貼りついていました。確かに、山の水族館です。大きな砂山を作り、「これも、これも。」と貼りつけたようで、これは、子ども達の小さな創意工夫と言えます。どんどん水族館らしくなっていく砂山を見る子ども達の笑顔が目につきます。

子ども達の遊びには、保育教諭の意図的な部分もありますが、新たな気付きや発見の場にもなります。そして、「なぜだろう、どうしてだろう。」の気持ちは、思考の芽生えへの基盤になります。

このように、子ども達は遊びを通し規範意識を身に付けるとともに物事、事象への興味や関心を高め、疑問を持ち、自分で考えて解決しようとする気持ちを高めていきます。

北見福祉会の各こども園で目指す“3点の子どもの姿”について掲載しました。どの項目も、ご家庭の協力が必要になります。ご家庭とこども園が協力し合い、次代を担う子ども達を育てていきたいと考えておりますので、一層のご理解とご協力をお願いいたします。

次号では、平成29年3月末に告示され、来年4月から実施される「改訂・幼保連携型認定こども園教育・保育要領」の概要についてお知らせする予定です。

## 各園での「こども達の様子」をちょっと紹介しましょう。

### ☆☆夕陽ヶ丘認定こども園☆☆



食育の一環として、栄養士の指導の下、定期的にクッキングを行っています。

今回は、餃子の皮ピザ作り！  
苦手なものも「おいしい！」と食べましたよ。

### ☆☆光西認定こども園☆☆



年長組の一泊キャンプの一番の楽しみ、夜の冒険の様子です。

毎年ストーリーがあり今年も鬼のあかべえに会いに行こうでした。

グループごとにいざ出発！

### ☆☆みなみ認定こども園☆☆



運動会でお父さん、お母さんに応援してもらおう応援フラッグを子ども達が作ります。

クラスのマークやクラス協議をテーマに作りました。

とても盛り上がりましたよ！